



岩井よしえ Tel/Fax955-7340 深良 2706-2
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岩井よしえ
yosie-820aug@purple.plala.or.jp



岡本かずえ Tel/Fax992-5174 茶畑 854-3E101
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岡本かずえ
peace_love_cabird@yahoo.co.jp

明るい裾野

弱いひと 困っているひとの味方一直線の共産党

困ったことは岡本かずえ、岩井よしえのなんでも相談へ

①次期新学習要領と教育勅語余話・三島の「ララ洋菓子店」実話 ②3月議会一般質問 等々

「次期新学習要領」と昨今騒がしい「教育勅語の道徳教育容認」と、第二次大戦中に三島であった洋風の店名「ララ洋菓子店」を和風に変えさせられた実話

次期学習指導要領について

改訂されるたびに悪くなっていくとは、どういうことでしょう。現行の指導要領にも批判すべき点が多々あったのに、それと比べるともっとひどいものになっています。教育現場や子どもたちのことを考えて作られているのか、本当に疑問に思います。

問題点その1

教育基本法が2006年に改悪されてから初めての改訂ということで、基本法を具体化するものになっています。「愛国心」「日の丸」「君が代」の押し付け、「道徳」の教科化など、特定の価値観を押し付けようとする意図が見え見えます。

「道徳」が教科になると、成績をつけなければなりません。大人や学校の価値観で子どもが考えた価値について、良い悪いと判断していいものなのでしょうか。いろいろな考え方があるとい

うことを教えることこそ、将来平和を守る大人に育っていくのではないのでしょうか。

問題点その2

安倍内閣による初めての本格的な改訂であり、安倍「教育再生」のねらいを教育内容、指導法、評価等教育活動全般にわたって具体化するものになっています。

資質・能力を国が定めて国民に押し付けるものであり、時間数や指導法、評価などにも言及し、教員の創造性や自主性を損ない、画一的な指導が行われることにもなりかねません。

問題点その3

スーパーサイエンスハイスクールなどスーパー〇〇と言って一部のエリートを作り、格差が広がる教育になっています。小学校での英語教科化もその一つです。日本語もしっかり身につけていない小学生が英語を学習することによって、英語嫌いの児童を生み出すことにもつながっています。

問題点その4

小学校の授業時間数が増加し、6時間授業の日が増えています。今までも3年生になると6時間の日があり、下校が4時近くになるのはどうなのかと思っていましたが、子どもたちの自由な時間がどんどん奪われていきます。

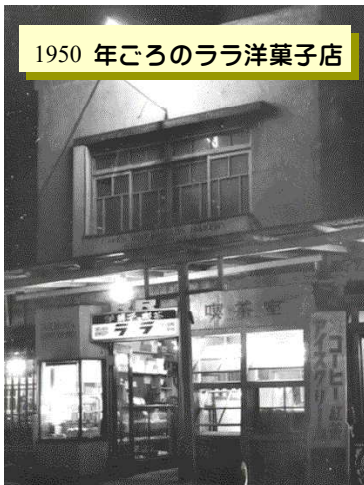
教育行政は教育条件整備こそ行ってほしい

ものです。学校の施設・設備の改善、予算がないということで、購入できない備品も多くあります。何より子どもたちの実態に合わせた指導ができるよう教職員を十分に配置することが一番の願いです。 (K)

三島の『ララ洋菓子店』実話

戦時中、和菓子屋の名前に変えさせられたケーキ屋さん「本当に悔しかった」

「ララ洋菓子店」というケーキ屋が、静岡・三島にある。創業 85 年。戦前からケーキやパンを販売してきた老舗だ。太宰治も足を運んだというこの店は戦時中、名前を和菓子



屋「菊屋」に変えさせられたことがある。「敵国語」だったことが、その理由だった。

「我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつ」視点から、小学校の道徳教科書の「パン屋」が「和菓子屋」に変わったニュースと、どこか重なるこの話。

いったい、当時の日本ではどんなことが起きていたのか。そしてその店に関わる人たちは、いま何を感じているのか。

「今回のニュースを聞いて真っ先に思い出したのが、祖父母のやっていた洋菓子店の話でした」

実家であるララ洋菓子店で修行を積み、いまは神奈川県小田原市でパン屋「ポタジェラ」を営んでいる小澤ちひろさん(53)は、BuzzFeed News の取材にそう語る。

「洋菓子店を和菓子屋の名前に変えさせられる。昔はそんなことがあったのかと驚いていたのですが、今回のニュースはまさに、おばあ

ちゃんの言っていた通りだと……」

憲兵からは「ララは敵国語であるから店の名はすぐに変えるように！」ときつく言われ「菊屋」に変えました。看板のネオンは引き抜かれました。【この項 BuzzFeed Japan から転載】



3 月議会 一般質問から

岡本和枝の一般質問(要旨)

1. 就学援助制度・入学準備金が 2 倍に引き上げられました。

岡本 経済的な理由によって就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、小学校・中学校入学準備金や学用品・給食費などを援助する就学援助制度があります。ランドセル、かばん、制服などの購入を対象とする入学準備金は入学後の 6 月に支給されます。入学前支給の検討をしてください。(※ランドセルを購入する 3 月ぐらいには支給して欲しいですね)

杉山教育部長 現時点では入学前の支給は難しい。しかし近隣の自治体でも同様に検討を始めており、情報収集をしながら研究を進めていく。

岡本 平成 29 年度新入学児童生徒の入学準備金(国の補助単価)が 2 倍に引き上げられました。(小学校 2 万 470 円⇒4 万 600 円、中学校 2 万 3,550 円⇒4 万 7,400 円)。裾野市の入学準備金支給額はどうなりますか。

部長 準要保護児童生徒への就学援助は市単独の事業ですが、従来から国の要保護の単価と同額で支給しております。平成 29 年度は国の単価に合わせて支給します。

岡本 就学援助の認定は、民生委員による家庭訪問調査がなくても、客観的な所得基準で行えば良いではありませんか。

部長 自治体によっては民生委員の意見書を廃止しているところもあります。当市でも昨年 11 月に民生委員会長名で意見書の廃止について要望書が提出されています。民生委員の意見書のあり方については今後検討していく必要があると考えています。

2. 世界かんがい施設遺産・深良用水に関して質問しました。



最初に文科省の「文化遺産を活かした地域活性化事業」の紹介や、深良用水を中心に据えたグラウンドワーク活動(三島のNPO法人・グラウンドワーク三島が有名です。)の可能性などを求め質問に入りました。

岡本 深良用水を現代のトンネル掘削、地質等から見た調査研究が必要ではないか。裾野市史の第 6 巻、深良用水の資料編に「・・・それにしても技術史からの調査研究の遅れは否めず・・・」とあります。裾野市史研究第 12 号の中では「・・・技術史に関心を持つ者としては、隧道掘削に直接かかわった技術史的資料が乏しいとの憾(うら)みを持つ。・・・」と市史資料をもっと活用して欲しいとの問題提起もされている。

部長 大規模な調査は費用が心配。地元からは、隧道深良側の穴口近くにある息抜き穴周辺の保全や、高精度のカメラを使った調査の提案などいただいている。今後検討していきたい。

岡本 深良用水水掛けり全ての堰へ案内看板の設置を。

部長 国の助成が出る「地域の文化遺産次世代継承事業」の一環として、管理者である芦ノ湖水利組合、水配人、地元関係者と協議し検討していきたい。

岩井良枝の一般質問(要旨)

1. 既存公園の維持管理と市民要望に応え新設の推進について

これまでも公園の維持管理や新設について質問を重ねてまいりましたが、新年度から都市公園の担当をまちづくり課に一元化、緑のマスタープランである緑の基本計画を見直し、市全体の緑地の保全、公園の配置についても検討をしていくということです。これは一歩前進と言えるものですが、市として、市民要望の多い公園の維持管理、新設に向けスピード感を持って推進をしていただきたいとの観点から質問しました。

岩井 都市公園業務を一元化で、市の施策としての公園の施策がどのように一歩前進をしますか。

建設部長 施策への反映としては、今までで、児童公園などが必要な場合に子育て支援課など担当課で建設などを考えたが、これからはまちづくり課で考えていく方向になる。

岩井 その他公園についても今後一元化をしていく考えか伺います。

部長 成り立ち、背景となるものが非常にいろいろとあるので、それらを一元的にというのは今のところ検討していない。

部長 全国的にも、近隣市町でも1つの課が全ての公園について管理をしている。維持、管理だけではなく、新設のことも考えたときにとて

も大切なことだと思うので、これについてはぜひ調べていただきたいと思うが。

部長 近隣の状況、県内の状況などを中心に、組織という立場からこれを把握する必要があると考えている。

2. 公立幼児施設の果たすべき役割について



子どもたちを取り巻く状況や社会状況が急速に変わってきている中で、新たな保育、子育ての課題に対して、公立保育園、幼稚園が積極的かつ柔軟に対応していくことが、これから重要になります。公立の施設が今まで果たしてきた役割、これから果たしていくべき役割を質問しました。

岩井 公立幼児施設の評価が高い要因はどこにあると考えられていますか。

米山健康福祉部長 公私立ともに評価はされていると思うが、公立を担当している私としては、公立が評価されていることは大変ありがたいことと感じている。公私立ともに園長先生を初め職員全員で一生懸命熱意を持って保育、教育に当たっていただいていることが、おのこの園の保護者の方の信頼を受けていると考えている。また、ひとつ公立の強みという形では、当市の成り立ち、5カ村の合併という視点から考えると、やはり配置についてある程度バランスが考慮された立地になっているかとは考えている。

岩井 平成16年から国が公立保育園の運営費などを一般財源化したことは問題ではないのか。

部長 公立施設への運営費の補助がなくなったことは、確かに市としての財政負担は大きな

ものとなっている。財政負担だけの面からだけでなく、子育て支援という観点を前向きに考えていきたいと考えている。

岩井 保護者の意に反して、公立の保育園、幼稚園の民営化が全国的にも進められているが、それらの自治体の中でも公立幼稚園、保育園の果たすべき役割について、基本方針を決めているところが多くあります。これからも公立幼児施設が担っていくべき役割はしっかりあるもので、当市でも、明記していく必要があると考えますが。

部長 どの部分へ明記するかははっきり言えないが、公立としてどうあるべきかという部分は議論なり、検討をしていきたいと考えている。

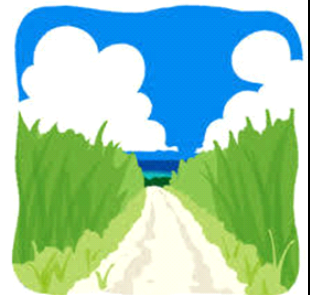
気流(2) カバー曲

先日、坂本冬美の歌謡ショーに行った。おなじみの「あばれ太鼓」や「夜桜お七」などを唄って観客を魅了した。そして一方、美空ひばりの「愛燦燦」を唄った。さて、ひばりと、どう差をつけるのかと注目していたら、冬美さん曰く「先輩の歌をそのままは歌えない」とアレンジして歌った。

カバー曲は本人が作り上げたその曲の世界ができあがっているから、よほどの力がない限り本人を超えることはむずかしい。

最近ハマっているの名古屋のシャンソン歌手が「サトウキビ畑」を歌ったが、平板だった。何よりも歌の底に流れる悲しみや怒りが伝わってこなかった。もちろん森山良子の「サトウキビ畑」がピカーで、私論では、歌の国宝級であると思うのだが、どうだろうか。

(聖)



訂正とお詫び: 前号の「気流」で「業者おまかせが進んだ時、氏は市職員は」とあるのは「市は、市職員は」の謝りでした。(友)